

平成23年度決算

平成23年度の収支の状況、市債や基金の現在高などの決算状況についてQ&A(問答)形式でお知らせします。

財政課 ☎ 65・1220 FAX 65・1216

決算

Q 決算って何ですか？

A 決算とは4月1日から翌年3月31日まで(会計年度)の1年間に、どのような収入(歳入)があったとか、どのようなことに使った(歳出)かをお知らせする結果報告です。

Q 決算の結果はどうなりましたか？

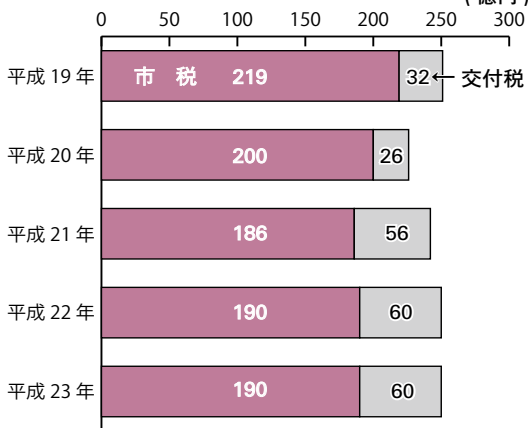
A 一般会計決算額は、歳入が457億9543万円、歳出が443億8258万円で差引は14億1285万円となり、さらにこの額から24年度への繰越事業の財源2億4164万円を差し引いた実質収支額は、11億7121万円となり、43年連続して黒字決算となりました。

歳入

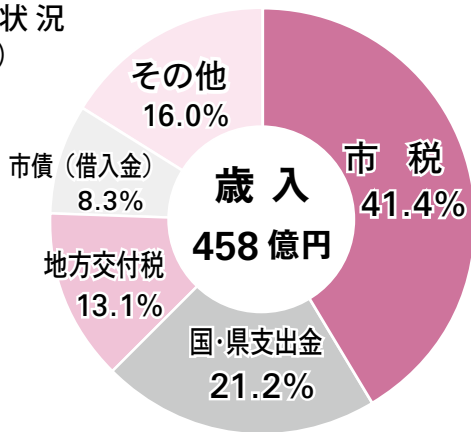
Q 歳入にはどのようなものがあるのですか？

A 一般会計の歳入には、市民の皆さんが納める市税のほか、地方交

市税・地方交付税収入の推移 (億円)



歳入決算状況 (23年度)



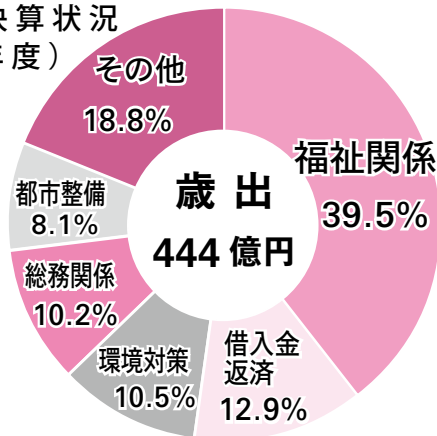
Q 歳入は昨年と比べてどうなりましたか？

A 昨年と比較し、国庫支出金は小・中学校耐震補強対策事業の減少などにより13億8091万円の減少、市債も20億8690万円の減少となりました。これらの結果、歳入総額は前年度より31億7527万円減少しました。

付税、国や県からの収入(補助金)、市債(借入金)などがあります。

歳出

歳出決算状況 (23年度)



Q 歳入を、どのように使いましたか？

A 一般会計歳出の第1位は福祉関係(民生費)です。慈光園建設事業の減少などにより、前年度より2億708万円減少し、175億2804万円で、支出全体の39.5%を占めました。次に多いのが、借入金の返済(公債費)で57億329万円、以下、環境対策(衛生費)46億5017万円、総務関係(総務費)45億5009万円、都市整備(土木費)35億9127万円となっています。

特別会計の決算状況（単位：万円）

| 事業 | 歳入（収入） | 歳出（支出） |
|-------------|------------|------------|
| 貯木場事業 | 2億 2,119 | 4,049 |
| 渡海船事業 | 1億 7,402 | 1億 7,402 |
| 住宅新築資金等貸付事業 | 2,791 | 1,482 |
| 平尾墓園事業 | 1,853 | 1,853 |
| 公共下水道事業 | 53億 584 | 52億 8,932 |
| 工業用地造成事業 | 4億 8,065 | 3億 8,259 |
| 国民健康保険事業 | 132億 3,080 | 129億 9,627 |
| 介護保険事業 | 115億 856 | 115億 856 |
| 後期高齢者医療事業 | 14億 7,618 | 14億 1,062 |
| 合計 | 324億 4,368 | 318億 3,522 |

■ものづくり人材育成施設の建設



■小・中学校校舎耐震補強工事の実施

企業会計の決算状況

（単位：万円）

| 事業 | 収益（収入） | 費用（支出） | 当期純利益 | 企業債の残高 |
|---------|-----------|-----------|----------|-----------|
| 水道事業 | 17億 4,699 | 15億 2,436 | 2億 2,263 | 51億 7,420 |
| 工業用水道事業 | 2億 3,549 | 1億 7,034 | 6,515 | 4,291 |



企業会計には、水道事業会計と工業用水道事業会計があり、経営に必要な費用は水道料金収入などによって賄う独立採算制の会計です。

Q 一般会計のほかに、どのような会計がありますか？
A 特定の目的のために設置し、一般会計とは区別して経理している特別会計と、企業会計があります。特別会計には、

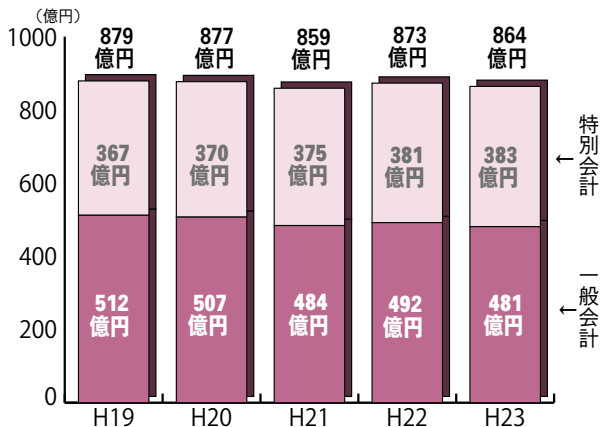
特別会計・企業会計

借入金（市債）

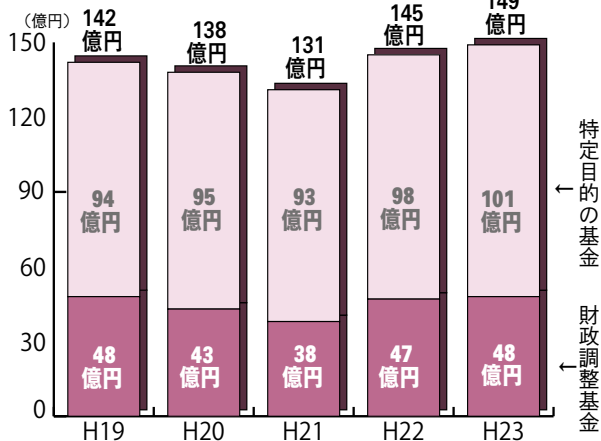
Q 市債の残高の状況は？

A 市が国や金融機関などから借り入れる資金のことを市債といいます。将来にわたって使われる学校や道路、公園などの公共施設を整備する場合に、資金の一部を借り入れます。一時的に多額の費用が必要となることも理由の一つですが、将来、その施設を利用する人々にも借入金を返済していただくことで、世代間の負担の公平を図っています。なお、平成23年度も繰上償還を行い、約5900万円の利子（将来の負担）を減らしました。

借入金（市債）残高の推移



積立金（基金）残高の推移



Q 基金の残高の状況は？

A 基金は皆さんの家計でいうと「貯金」にあたります。基金には、特定の目的のために積み立てている基金と、災害などの緊急の出費や道路や学校の建設など一度に多額の出費が必要ときに備えるための財政調整基金があります。財政調整基金は、平成16年には集中豪雨による災害の復旧のため約20億円使いましたが、その後の事業の見直しや市税収入の増加などにより、平成18年には災害前の規模に回復しました。

積立金（基金）